



～忠見保育園～

議会だより やめ

No.145 平成26年8月1日



ふるさとへの感謝と誇りと愛着。そして、未来へ。
八女市は市制施行60周年・合併5周年を迎えました。

- P 2 **6月定例会** ～議案審査～
- P 5 **地方の声を国政へ** ～意見書を提出～
- P 6 **ここが聞きたい!** 一般質問 **11人** の議員が登場
- P 13 **やめっこ未来館を視察** ～厚生常任委員会～

6月定例会 議案審議

一般会計補正予算4725万円を追加

総額377億725万円

観光施設整備設計等業務委託料

1080万円

きのこ村（黒木町笠原）の復旧にかかる測量設計業務委託料

きのこ村復旧基本計画(イメージ図)



コミュニティ助成事業助成金

2010万円

財団法人 自治総合センターが実施するコミュニティ助成事業で、公民館の備品購入やコミュニティセンターの建設及び青少年の健全育成に関する事業などに助成するもの。

人事案件

原

順三郎氏(新任)

人権擁護委員候補者の

推薦に同意

久間 絹子氏(新任)

牛島 由美子氏(新任)

農業委員の推薦に同意

改正の内容は、勤続5年以上10年未満の団員を5万6千円増の20万円にするほかは、一律5万円を増額する。

訓練で土のう作りを行う消防団員



消防団員の退職報奨金を5万円増額

提案理由

消防団員等公務災害補償等責任共済等に関する法律施行令の一部改正に伴い、消防団員の処遇改善を図るため、退職報奨金の支給額を改正するもの。

6月定例会は6月5日から6月20日までの16日間の会期で開催されました。市長より提案された議案は4725万円を追加する一般会計補正予算など議案7件、報告5件が上程されました。

最終日には議員発議により農業委員の推薦についての人事案2件、意見書案3件が提案されました。

いずれも原案どおり可決・同意しました。(賛否表P15)

一般質問は11人の議員が登壇し、市政全般にわたり質問しました。(P6)

委員会審査

厚生

審査の主なもの

- 平成26年度八女市一般会計補正予算 (全員賛成で可決)
 - ・社会福祉費 2億5108万円(国民健康保険事業費特別会計繰出金)
- 平成26年度八女市国民健康保険事業費特別会計補正予算 (全員賛成で可決)
 - ・療養諸費 2億7千万円(一般被保険者療養給付費負担金)
 - ・償還金及び還付加算金 5千万円(療養給付費等国庫負担金返還金)

総務文教

審査の主なもの

- 平成26年度八女市一般会計補正予算 (全員賛成で可決)
 - ・教育費 2010万円
 - 生涯学習推進費 100万円
 - 公民館費 1910万円

コミュニティ助成事業助成金交付先決定

生涯学習推進費について

問 ふるさと探検隊の事業は、毎年開催されているのか。

答 青少年健全育成事業として上陽地区で初めて実施される事業である。

一般コミュニティ助成事業について

問 公民館の備品の補助について。応募数・選定理由

答 今までは、新築公民館

問 今まで優先順位をつけるような前例はなかったのか。

答 申請される団体には、採択されるのか分からないという点を申請の際に説明し、十分配慮していく。

答 青少年健全育成事業として上陽地区で初めて実施される事業である。

答 6団体の応募があり、優先順位としては、住民の負担を考慮して公民館の新築を優先し、その中で世帯数の少ないところから優先した。

問 不採択になった団体には納得いくような説明を。

由・優先順位について。

館が年に1件あるかないかの状況であったので、新築公民館はほとんど採択されていたという現状がある。

保険給付費増額による一般財源繰入れ

国民健康保険事業

今回の主な補正予算は一般会計より国民健康保険事業費特別会計への繰入金2億5108万円の追加である。

内容は、法定内繰入金1960万円及び法定外繰入金2億3148万円である。

法定内繰入金は、八女市国民健康保険税条例の一部改定に伴う軽減額の増額が予測され、その

同額を基盤安定予算として追加補正するものである。

法定外繰入金は一般被保険者療養給付費の増大により、国民健康保険事業の財源に不足が生じ、その補てんのための繰入れである。

問 3年にわたる法定外繰入となるが、今後の国保会計をどう考えるのか。

答 歳出状況を検討し、医療費の抑止に努め、

歳入増を図る。

問 ジェネリック医薬品の使用による軽減効果は検証しているのか。

また、医師会を通じてジェネリック医薬品の普及に努めるべきではないのか。

答 国保連合会において、ジェネリック医薬品使用効果を調査、そのデータで毎月チェックしている。

国民健康保険事業概要

区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
年度平均被保険者数	23,369人	22,792人	22,193人	21,610人 (H26.3.31現在)
療養諸費	6,816,579千円	6,747,281千円	6,557,805千円	6,676,500千円 (6月補正後予算)
一人当たり療養諸費	291,693円	296,037円	295,490円	308,954円
法定外繰入	0円 (決算額)	23,400千円 (決算額)	103,770千円 (決算額)	231,486千円 (6月補正予算額)



議会の動き

5月

- 7日 全員協議会
厚生常任委員会
建設経済常任委員会
- 8日 全国自治体病院経営都市協議会総会
(東京都)
- 21日 総務文教常任委員会
- 26日 議会運営委員会
平成26年第2回臨時会
- 28日 全国市議会議長会定期総会 (東京都)
- 29日 議会運営委員会

6月

- 5日 平成26年第3回定例会 (招集日)
全員協議会
議会だより編集委員会
- 9日 本会議 (一般質問) ~ 11日
- 12日 本会議 (議案審議)
予算審査特別委員会全体会
委員会・分科会
- 18日 全国森林環境税創設促進議員連盟
要請活動 (北九州市)
- 19日 予算審査特別委員会全体会
議会報告会正副班長会
厚生常任委員会所管事項調査
(やめっこ未来館)
- 20日 平成26年第3回定例会 (最終日)

7月

- 2日 総務文教常任委員会視察研修 (~4日)
- 7日 全員協議会
議会だより編集委員会
- 14日 議会だより編集委員会
- 16日 総務文教常任委員会
- 17日 八女地区消防組合議会 (臨時会)
全国森林環境税創設促進議員連盟
定期総会 (大分県日田市)

建設経済

審査の主なもの

○平成26年度一般会計補正予算 (全員賛成で可決)

- ・農業総務費 165万円
- ・観光費 1080万円

きのこ村に人道橋を設置

農地中間管理事業

問 きのこ村の復旧にかかる測量設計業務委託料の内訳は。

答 測量に係るものが60万円。設計に係るものが820万円。地質業務に係るものが110万円。

問 施設が右岸側に集中する中で、それほどグレイドの高い人道橋を渡す必要があるのか。

答 左岸側には、キャンプファイヤーや木工体験館も

そのまま残すし、バーベキューをする施設も計画しているの必要。

問 本体工事はいくらかかる予定か。

答 概算事業費は2200万円程度。

問 橋の構造は。

答 長さ17.5m、幅員3m、PC単純中空床版橋。コンクリートの中に鋼線を張り荷重がかかっても落ちないような構造。

問 農地中間管理事業に係る賃金は新たに臨時職員を充て窓口相談に従事させるのか。

答 現在、従事している臨時職員の賃金に充当する。26年度からの新規事業であり、そのうち業務が出てくるかはわかりないので、臨時職員を含め、今いる職員でも対応する。



地方の声を国政へ

今定例会に提出された教育予算の拡充を求める意見書採択のための請願は、全員賛成で採択し、議員発議により意見書として提出され可決しました。また、同じく議員発議による意見書2件も全員賛成で可決しました。

可決した3件は、八女市議会の意見書として関係行政庁に送付しました。

新農政における農協の役割に関する意見書(要旨)

今回、国の規制改革会議で出された「農業改革に関する意見」は、JA組織に関して信用事業の移管、共済事業の代理店化、准組合員への新たな利用制限の導入、全農の株式会社化、中央会制度の廃止などを提言した。

特に本県では、県・市町村等の行政関係機関とJAグループが連携しながら、地域農業の振興に取り組んでおり、今後ともこの関係を継続していく必要がある。

よって、国におかれては、下記の事項に留意するよう強く求める。

記

- (1) JAに対して、強制的な組織変更をさせるのではなく、組合員の総意に基づく自己改革を基本とすること。
- (2) JAは、農家の営農と生活に密着した総合事業を行っており、准組合員への事業利用を制限することは受け入れられない。
- (3) 全農は、JAを補完するための機能を有するものであり強制的に株式会社化しないこと。
- (4) 中央会は、JAの指導機関として、現行のまま存置すること。

教育予算の拡充を求める意見書(要旨)

請願者 高松 忠彦（八女市立花町山崎） 紹介議員 赤木 達男

一人ひとりの子どもに丁寧な対応を行うためには、ひとクラスの学級規模を引き上げる必要があります。

しかし、義務教育費国庫負担制度の負担割合は2分の1から3分の1に引き下げられ、非正規雇用者の増大などにみられるように教育条件格差も生じています。

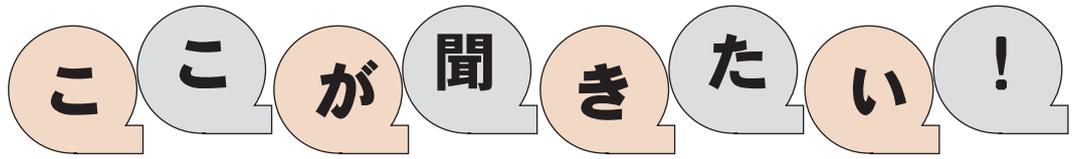
将来を担い、社会の基盤づくりにつながる子どもたちへの教育は極めて重要です。こうした観点から、少人数学級を推進し、30人以下学級とすること。義務教育費国庫負担制度の国負担割合を2分の1に復元することを要請します。

防犯カメラ等の防犯設備に対する補助制度の拡充を求める意見書(要旨)

八女市においても、強制わいせつほか、性犯罪前兆事案等の犯罪による被害を未然に防止し、国民が安心して安全に暮らせる地域社会を確立するために、防犯カメラ等防犯設備の設置促進が求められています。

しかしながら、現在、防犯カメラ等防犯設備に対する補助制度は、商店街のまちづくりに対する事業に限られており、地方自治体の限られた財源では、これらの防犯設備設置を積極的に促進することは困難な状況にあります。

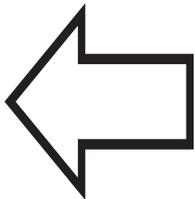
したがって、防犯カメラ等の防犯設備に対する補助制度については、学校及び地域団体等への新たな補助制度の創設ほか、さらなる拡充及び強化を図られますよう強く要望します。



一般質問

月 日	質問者氏名	質 問 事 項
6月9日 (月)	栗原吉平	1 林業の振興について
	樋口安葵次	1 過疎化する地域の道路改良について
		2 バイパスの新設について
		3 市営住宅の建設について
		4 白木和水町間のトンネルについて
	萩尾洋	1 公有財産利活用検討委員会について
		2 雇用促進住宅改修事業について
	森茂生	1 キウイフルーツについて
		2 財政問題について
		3 子育て対策について
6月10日 (火)	橋爪房義	1 高齢化社会及び人口の減少が続く中、住み良い住環境の整備に向けた街づくり対策について
		2 1級市道新庄宮島線改良工事の積極的取組について
	小川栄一	1 空き家対策について
		2 やめっこ未来館の運営について
		3 防災対策
	松崎辰義	1 環境問題について
		2 高齢者福祉について
		3 子育てについて
	6月11日 (水)	三角真弓
井本政弘		1 防犯対策について
朽網英文		1 キウイフルーツかきよう病新系統「Psa3」の被害感染実態について
		2 市の地域観光施策について
牛島孝之		1 八女市の再生可能エネルギーの現在の状況及び今後の八女市の考えは
		2 母子生活支援施設(ひまわり園)について
	3 八女観光物産館、八女伝統工芸館の現在の状況今後について八女市の考えは	

《一般質問の詳しい内容》





栗原吉平



べんがら村に導入している木質バイオマスボイラー

森林荒廃の再生に向けた、基盤強化の施策は

答

森林経営計画の効果的な運用と林業者と市が連携を図っていく

問 市内で調達できる木質バイオマスの量は。また、計画促進に基づく小型バイオマスボイラーの農業利用実証事業は。

答 6万3千立方メートル

状況である。昨年1年間で実施した農業施設実証事業によるボイラーの製作支援と加温能力の実証試験について、事業化に結び付けたい。

問 八女材のバイオマス発電計画はどの程度で何世帯賄えるのか。そして、2割しか搬出できない状況だが、対応策は。

答 6万3千立方メートル

賦存量で、対応発電設備は2500キロワットで約3600世帯である。森林経営計画に基づいた主伐による出荷材積1立法メートル当り800円を助成していきたい。

問 森林経営計画の啓蒙活動と状況については、どのようにしているのか。また、なぜ認定作業が遅れて進まないのか。

答 25年度末の計画認定は21回地8572ヘクタールであるが、民有林の28%しかない。そして、小規模林業者にとって施業規則が負担となっている場合が多く、この制度見直しを国に要望している状況である。

鞍懸町内の道路を4メートルに拡幅すべきではないか

答

地元からの要望もあるので、地元行政区と協議・検討する



樋口安栄次



雇用促進住宅「八女（蒲原）宿舎」

問 県道玉名八女線と船小屋八女線のバイパス実現について。

答 バイパス案での事業化は厳しいと思うが、八女市としては、今後も引き続き、県へ強くお願いするとともに、市道改良を含めた整備については、地元行政区、各関係機関と調整を図りながら進めていきたい。

問 今度、購入する雇用促進住宅の高齢者と障がい者のための対策はどうなっているのか。

答 正式購入の意向を申し入れ、契約に向けた協議・交渉を進めている段階である。

問 県道玉名八女線のトンネルについてどうなっているのか。看板を立てたらどうか

答 いずれの日にか私共もトンネルの看板を立てる日がくることを願いながら、今後とも努力していきたい。

公有財産利活用検討委員会は、具体的にどのような検討をしているのか



萩尾 洋

答 施設の数・適正配置について基本方針に基づき検討している

問 利活用を決定した物件の具体的な方向付けは、**答** 採算性・必要性とも低い138施設を対象に、まず1が統廃合、2が一部廃止、3が廃止または休止、4が地域または公共的団体への移譲、5が民間移譲、民営化、6が現状維持という6段階に分類し、検討している。

問 最終的にその物件を取り扱う所管は、**答** 検討委員会で方向付けをした後、市長に答申し、承認を得た後、それぞれ

問 雇用促進住宅改修事業に**答** 耐震機能は十分か。**問** 建物の構造概要は、**答** 構造概要は、壁式鉄筋コンクリート造。耐震機能は雇用支援機構より十分だという回答を得ている。

問 間取りは、高齢者・若者世代に合った仕様を**答** 生活様式が若干変わってきているので、そういった部分も考慮し、検討する。



雇用促進住宅「八女(蒲原)宿舎」

キウイのかいよう病対策は
問 キウイの販売高は20億円で中山間地の農業には欠かせない作物、被害の現状と今後の対策は、**答** 14ほ場、225ha



森 茂生

風評被害など2次被害が生じないよう、的確な情報発信に努める。
問 財政問題について**答** 財政調整基金、福岡県下で何番目に多く積み立てているのか。**答** 調べていない。

問 1番が福岡市で144億円、びっくりするのは2番目が八女市で117億円、北九州が87億円、久留米市が62億円である。財政規模からして多過ぎる。保育料、学校給食を無料にする等思い切った対策をとり住民に還元するべきではないのか。**答** 子育て、高齢者対策等いろんな問題がある、参考にさせてもらう。

問 三河、八幡、光友の保育所を民間に移管する計画のようだが、今ある公立保育所は市が責任をもってやるべきでは。**答** 民営化を実施するが、移管後不適切な経営、運営があれば指導する。

答 弊害は大きいですが、因果関係はまだ証明されていない
自閉症など発達障害は、テレビ等の影響が原因の一つでは



橋 爪 房 義



一級市道 仏尾木浦線(上陽町下横山)

高齢化社会と過疎化が進む中、住み良い住環境の街づくり対策はどうする

答

中山間地域の道路愛護作業は早急な検討課題と認識する

住み良い住環境整備対策

問 消防団員が、減少している今、市職員構成の消防団を結成すべきではないか。

答 現時点では、市職員を補充しなければ、活動が困難な状況ではない。

問 公民館は、市規則で月曜日は開館日である。中央公民館のみが、規則

に反し月曜日は休館日と

なっている。公民館行政は統一すべきではないのか。

答 中央公民館は、ありなすやめ研修棟と兼用しており、市民会館規則を優先し運営している。

問 中山間地域では、市域に比べ道路愛護区間は

市道新庄宮島線改良工事

問 具体的な工程計画は、現在、承諾を頂いている9筆の境界確定測量を実施中である。この境界測量の完了後、用地測量、物件調査を行い、地権者との用地買収、物件

移転の協議となる。契約完了後、順次着工する。

極端に長い。市は、支援策を検討すべき時代では

答 市道の他、国道、県道、農道等中山間地の方々の作業の労力負担には感謝している。早急に検討すべき重要課題と認識しており、引き続き皆様のご協力をお願いしたい。

5月20日半壊した福島校区の空き家の現況、処置内容と今後の対応は

答

市道に崩落した瓦等を除去し、所有者に状況報告した

問 祈祷院に危険家屋があるが、現況と対応は。

答 屋根と壁の傷みが激しく、建物の一部が市道へ崩落する恐れがあるため、通行者の安全確保にバリケード・コーンを配置し、所有者に適正管理するよう文書で依頼している。

問 個人の所有だから、適正管理をお願いする段階で終わると聞かえるが、現在の状況では、市としてはお願いするところまでしかできない。全国的な問題で、非常に進んだ対処をしている市町村がある。このまま

問 個人所有だから、適正管理をお願いする段階で終わると聞かえるが、現在の状況では、市としてはお願いするところまでしかできない。全国的な問題で、非常に進んだ対処をしている市町村がある。このまま

問 個人所有だから、適正管理をお願いする段階で終わると聞かえるが、現在の状況では、市としてはお願いするところまでしかできない。全国的な問題で、非常に進んだ対処をしている市町村がある。このまま

問 個人所有だから、適正管理をお願いする段階で終わると聞かえるが、現在の状況では、市としてはお願いするところまでしかできない。全国的な問題で、非常に進んだ対処をしている市町村がある。このまま

問 個人所有だから、適正管理をお願いする段階で終わると聞かえるが、現在の状況では、市としてはお願いするところまでしかできない。全国的な問題で、非常に進んだ対処をしている市町村がある。このまま



小 川 栄 一

利用者と直接契約の認定こども園と 保育所では保育料に差が出るのでは



松崎 辰義

答 苦慮しているが、ご協力を得る形で考えていきたい



環境問題について

問 「うすま・ふぁーむぱーく」の汚泥の処理能力は。

答 1日あたりの処理能力が82・5立方メートルといことになっている。

問 汚泥の搬入量が増えると、基準値をオーバーするようだが、本当にそれだけの処理能力があるのか？能力はどのようにして算定されるのか調べたのか。

答 施設の能力について、確認、整理したことはない。今後は県と協議しながら、処理能力の問題、あるいは質の問題など、さまざまな観点から取り組んでいく。

介護保険制度について

問 要支援1、2の方々と訪問介護である。この人たちは今後、総合事業対象者になり、介護申請が出来なくなるのでは。

答 基本的に要支援1、2がなくなる訳ではない。従来どおり既存のデイサービスに行く必要がある方は施設の事業所へ行ってもらう。

問 特別養護老人ホーム入所は要介護3以上の方が対象となるが、入れない方への対策は。

答 在宅で出来る部分をどう支えるかが課題だ。



三角 真弓



27年度より合併算定替による普通交付税の減少をどう乗り越えるのか

答

第6次八女市行政改革大綱に基づき行政運営を行う

行い資産・負債を記入した財務諸表等を作成し、住民の皆様への見える化を推進すべきではないか。

答 研究・勉強を行う。

問 超高齢化社会の中の地域の課題をどのように分析しているのか。

答 外部との接触や社会的参加と認知症予防が重要であり、地域包括支援センターの体制に充実を図り運営協議会で審議。

問 子どもたちを取り巻く環境

子どももの貧困対策の推進に関する法律による子どもたちへの支援への対応は。

答 家庭内の環境の改善等、意識の改革を図る。

問 財政基盤の強さを示す財政力指数、弾力性を示す経常収支比率、高齢化による扶助費の伸び、

費は年々増加、税収も減少傾向、一人当たり約60万円の借金となっている。

税収の増減、一人当たりの地方債（借金）は。

答 財政力指数は0・36、経常収支比率82・8、扶助

理、公会計を新しい基準モデルに沿った複式簿記・発生主義に変え、固定資産税台帳の整備を

定資産税台帳の整備を



井本政弘



年末年始特別警戒出動式

今、女の子が危ない！性犯罪被害が急増!!市民みんなで安全安心の取組を

答

防犯協会で防犯カメラ等防犯設備の拡充強化に関する決議を採択

問 幼い子どもや女性が犠牲になる凶悪な犯罪が後を絶たない昨今、福岡県全体としては犯罪件数は減少傾向にあるのに、八女警察署管内では増加している。特に性犯罪は3年で10倍に急増しており、異常事態である。市

民の不安を払拭するため八女地区防犯協会の会長としての市長の取組みを問う。

答 八女地区防犯協会は、八女警察署管内の居住者関係団体等で構成しており、防犯意識を高める啓発活動、青少年の非行防

止活動、防犯指導員、青少年補導員などの地域ボランティア活動の支援等を実施しており、平成26年度定期役員総会において防犯カメラ等防犯設備の拡充強化に関する決議が採択され、八女警察署から商店街、商業施設、学校等に設置のお願いをする予定である。市としても緊急性を要する所や機種の選択等、重要箇所への早急な設置に向けて検討している。また、市民への啓発のために、防犯の決起大会等も考えていきたい。

キウイフルーツかいよう病新系統「Psa3」の被害感染実態について

答

新系統かいよう病は、感染力が強く根本的な治療はない

問 現時点での対応は、

答 初発生より直ちに感染地への立ち入り制限と

県専門委員会での検討と併せて、県の対応メニュー

に沿って伐採処置を含めた対応を進めている。

問 今後の対応策について。

答 発生した集落での説明会、行政を含めた対策会議を実施、対応策を協議する。農林水産省の現地調査も5月23日に行なわれている。

問 市の地域観光対策

答 茶のくに観光アクションプランについて

問 ショップランについて

答 観光物産館ときめき

内に観光振興課と観光案内所を置く。

問 目指すべき方向性と将来像はどのように考えているのか。

答 観光施策による交流人口の増加、地域経済の活性化、子どもたちや孫たちが心豊かに暮らせる八女市の実現を目指す。

問 着地型の滞在型の観光を進めるには、「食」ではないか。

答 もてなし談議後の食の提供メニューの中から、八女の「これ!」と言える食の研究を進めていく。



朽網英文

福岡県知事 小川 洋様

キウイフルーツかいよう病発生に関する要望書

八女市長 三田村統之

- 1 発生園地における樹木の伐採等に要する経費、代替園の確保及び新植に要する経費のほか、未収益期間に対する支援など被害農家の営農継続のための支援
- 2 感染経路の早期特定と未発生園への感染拡大防止策の策定
- 3 キウイフルーツを樹体共済の対象品目とするなどの果樹共済制度の拡充
- 4 正確な情報提供による風評被害の防止及びキウイフルーツのイメージ向上対策

※ 市長より関係行政庁に送付しております

母子生活支援施設(ひまわり園)について、建築年月日は



牛島 孝之

答 昭和56年3月に建築しておりRC造3階建である

母子生活支援施設とは

母子生活支援施設は、子育て支援を進めながら、母子の生活と自立を支援します。

〈児童福祉法第38条〉

母子生活支援施設は、配偶者のない女子又はこれに準ずる事情にある女子及びその者の監護すべき児童を入所させて、これらの者を保護するとともに、これらの者の自立の促進のためにその生活を支援し、あわせて退所した者について相談その他の援助を行うことを目的とする施設とする。

問 この建物について、耐震検査はなされているのか。

答 平成21年3月に検査し、耐震の基準は満たしているという回答を得ている。

問 建物の外観が、黒っぽい灰色となっているがこの件について市の見解は。

答 議会が終わった後、一度現場を見させていただこうかと思っている。

問 再生可能エネルギーについて稼働している再生可能エネルギーの種類、箇所数は。

答 太陽光発電1899件、水力発電は4ヶ所、農地における太陽光発電設備は11ヶ所許可されている。

八女観光物産館について
問 八女観光物産館については、市民の方からぜひ生鮮農産物を販売してほしいという声をよく聞くが、今後販売するかどうか。

答 現時点では生鮮農産物を販売する考えはない。

全国市議会議長会表彰

第90回全国市議会議長会定期総会（平成26年5月28日）で、市議会議員として長年にわたり市政の進展に寄与された功績により、表彰を受けられました。



栗山 徹雄 議員
(議員15年以上)



赤木 達男 議員
(議員15年以上)

地域・市民協働による 子育て支援の充実を

〈厚生常任委員会現地調査報告〉

八女市子育て支援総合施設「やめっこ未来館」は、子育て親子の交流の場として本年6月1日の開館以来、市内外より現在、大人517人・子ども632人の計1149人の利用状況にある。

身体的負担を軽減する支援事業として、一時預かりや子育てを地域で相互援助するファミリー・サポート・センター事業が実施されている。

さらに、乳幼児の子育てに関する悩みや不安を解消するために、来館による相談及び電話・メールによる相談を実施している。

事業内容は、市内の子育て支援施設や、やめっこ未来館の情報を記載した刊行物を発行し、市内保育所(園)・支所・図書館に配布している。

また、保護者の心理的・そのほか、市民参加による子育て事業を行うため、一時預かりサポーターや施設内ボランティアの育成に努めている。



調査を終えて

① 乳幼児の子育てに対する悩みや不安を解消する相談業務については、適切に対応するために保健師や専門機関との連携を密にし、専門性のある職員の配置を行う必要がある。

② やめっこ未来館を拠点として、市内全域に対する子育て支援の充実をさらに図っていくべきである。

請願・陳情って何？

市政について要望などがあるときは、どなたでも市議会に対して請願・陳情を行うことができます。

請願の場合は、議員の紹介が必要になります。陳情の場合は、議員の紹介は必要ありません。

請願は、委員会で内容を慎重に審査し、本会議で採択・不採択の結論が出た後、その結果を請願者に文書にてお知らせします。陳情は、委員会に送付しますが、採択・不採択の結論は出しません。

請願・陳情は所定の要件が整っていれば、いつでも受理します。定例会初日(開会日)の午後5時までに受理した請願・陳情は、その定例会において審査されます。なお、それ以降に受理したものについては次の定例会で審査することになります。また、郵送での陳情については委員会へ送付いたしません。

〇〇〇〇〇〇に関する請願(陳情)

〇〇年〇〇月〇〇日

請願(陳情)者 住所
氏名(代表者) 印
電話番号

八女市議会議長 様

1 要旨 紹介議員(請願のみ)氏名 印

2 理由

〈請願・陳情は次の要領で提出をお願いします。〉

○請願・陳情書は、左記の様式により、要旨、提出年月日、住所、氏名(法人又は団体が請願・陳情者である場合は、その所在地、名称及び代表者の氏名)を記載し、議長あてに提出してください。

○複数の場合は、その代表者を定め、代表者の後に「ほか〇〇名」と記載し、最後に提出者全員の住所、氏名を記載し、押印をしてください。

○請願書については、1人以上の紹介議員の署名押印を受けてください。

○道路及び水路等の改修、拡幅等の請願については、事前に担当課と相談をし、必要な地図、参考資料、地権者の同意等の資料を添付してください。

※詳しくは議会事務局へお問い合わせください(TEL0943-23-4922)

5月臨時会・6月定例会で審議した議案の結果

5月臨時会

報告第 2号	平成25年度八女市水道事業会計予算建設改良費繰越計算書の報告について	報告
議案第46号	専決処分について（平成25年度八女市一般会計補正予算（第6号））	承認
議案第47号	財産の無償貸付けについて	可決
議案第48号	平成25年度八女市住宅新築資金等貸付事業費特別会計補正予算（第1号）	可決

6月定例会

報告第 3号	八女市土地開発公社の平成25年度決算及び平成26年度事業の計画の報告について	報告
報告第 4号	平成25年度八女市一般会計予算継続費繰越計算書の報告について	報告
報告第 5号	平成25年度八女市一般会計予算繰越明許費繰越計算書の報告について	報告
報告第 6号	平成25年度八女市一般会計予算事故繰越し繰越計算書の報告について	報告
報告第 7号	平成25年度八女市簡易水道事業費特別会計予算繰越明許費繰越計算書の報告について	報告
議案第49号	八女市税条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第50号	八女市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第51号	八女市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第52号	市道路線の認定について	可決
議案第53号	市道路線の変更について	可決
議案第54号	平成26年度八女市一般会計補正予算（第1号）	可決
議案第55号	平成26年度八女市国民健康保険事業費特別会計補正予算（第1号）	可決
請願第 2号	教育予算の拡充を求める意見書採択のための請願	採択
議員提出議案第1号	農業委員会委員の推薦について（牛島由美子）	可決
議員提出議案第2号	農業委員会委員の推薦について（久間 絹子）	可決
委員会提出議案第1号	新農政における農協の役割に関する意見書	可決
委員会提出議案第2号	教育予算の拡充を求める意見書	可決
委員会提出議案第3号	防犯カメラ等の防犯設備に対する補助制度の拡充を求める意見書	可決
	人権擁護委員候補者の推薦について（原 順三郎）	適任と認める

インターネットで議会中継

八女市議会

検索

インターネットから議会の様子を生中継でご覧になれます。録画中継も生中継終了後3日程度(土・日及び祝祭日を除く)で見ることができます。会議名や議員名、用語でも検索できますので、ぜひご覧ください。

http://www.city.yame.fukuoka.jp/gikai/gikai_top.html



議会を傍聴してみませんか?

市政の動向を知るには、議会を傍聴するのが一番です。議員と市執行部とのやりとりを直接ご覧になってみてはいかがでしょうか。事前予約はいりません。

どなたでも傍聴できますので、ぜひお越しください。

日程など、詳しいことは議会事務局へお問い合わせください。

TEL 0943-23-4922

FAX 0943-23-4929

E-mail yame_city_gikai@city.yame.lg.jp

行政視察来訪 (5月-7月)

- 沖縄県名護市議会
- 富山県氷見市議会
- 神奈川県海老名市議会
- 茨城県桜川市議会
- 兵庫県姫路市議会
- 公明党福岡県本部 議員団
- 山形県新庄市議会
- 東京都板橋区議会
- 熊本県御船町議会
- 福島県議会
- 大分県竹田市議会

次回定例会

9月上旬 予定

午前10時～立花庁舎議場

編集後記

私は、昭和30年2月10日生まれ(未年)、今年11月に中学卒業の選歴同窓会が予定されている。自分自身、来年2月で満60歳の選歴を迎える。

選歴といえは赤いちゃんちゃんこ。赤いちゃんちゃんこと選歴とは、どんな関係があるのか。もともと選歴とは、干支が一巡するところをいふことだ。干支とは、十二支と十干(きのえ・ひのえ・かのえ等)と組み合わせたもので60年で一周する。つまり、生まれた干支に戻るといふことは赤子(赤ちゃん)に戻るという意味で「赤ちゃん」を「赤いちゃんちゃんこ」にかけたものだという。

また、赤には昔から魔除けの意味もあり、元気に長生きしてほしいという願いも込められている。還暦に赤いちゃんちゃんこを着るのは昔の人のユトモア

と縁起担ぎの発想からきている。考え方によっては、選歴は第二のスタートラインであるとも言える。今まで生きてきた垢にまみれた60年を振り返り、赤ちゃんの時のような無垢で純真な心(願望)を持ちながら第二のスタートラインに立ちたいものだ。

角田 恵一

発行責任者

議長 川口 誠二

議会だより編集委員会

委員長 大坪久美子

副委員長 伊井 渡

委員 森 茂生

委員 寺尾 高良

委員 橋爪 房義

委員 草場賢一郎

委員 角田 恵一

委員 萩尾 洋

委員 牛島 孝之